廿七日夕刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所 磐城時報社
一部金貳錢、一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

平商業學校を 縣立に移管の運動
財政難から持ち上る 二萬圓の節約が出來る

平町では應報不況に依る税收減その他の財政難から明年度歳入は五年度當初豫算三十一萬圓に對し八割強二萬六千圓の大減少で歳出方面の辻褄合せに大苦しみであるが歳出方面では前年度に既に可及的な切詰め編成をしたので今更斧鉞の入れ場がなく一方唯一の財源である不可能な事情もあり結局昨年度に昇格して甲種となつた町立平商業學校を此の際縣へ移管しては如何との意見もあり時期尚早の嫌ひはあるが此の際運動をする事となつた之が實現すれば約二萬圓が浮び上るわけである。

▲石城町村長會

石城町村長支會の六年度豫算編成總會は二月七日午前十時から平町各種團体事務所に開催。

健康保險 無給者表彰

石城郡磐崎村小野田炭礦では二十五日午前八時から同坑坑夫クラブで健康保險組合員六百六十二名中左記無給付者の表彰を行つた。
▲一ヶ年舘正義外三十六名▲二ヶ年野木欣一外十八名▲三ヶ年篠崎誠一郎外九名▲四ヶ年長谷川正義外十二名

健康保險の 評議員選擧

石城郡好間村古河炭礦健康保險組では評議員の選擧を行つた結果左の如く當選した。
▲二五〇票武田久造▲一三四票小山榮一▲一三三票須水蕣太郎▲一一〇票橋高元一郎▲九七票下坂富造

萩原中八氏の炭礦で 新坑開鑿けふ起工式

石城郡好間村小田炭礦萩原礦業所では同村大字北好間字堂田舊炭礦糧食部裏附近に新坑を開鑿する事となり上好間字大畑飯場頭三宅富助氏に工事を請負はせたが三宅氏は二十七日午前十時起工の鍬入式を擧行した。

▲磐城實銀總會

平町磐城實業銀行の株主總會は廿四日午前九時から同行に開催、五年度下半期決算を附議可決した同行は姉妹關係にある磐城銀行の休業發表を見るや同時に預金の制限支拂ひをなし爾來內外の整理に當つて來たもので現在では貸付金を三十三萬圓迄に整理し預金は僅かに一萬三千圓迄に減じた。

海岸拂下げ 不況で行惱む

平稅務署が管下の石城郡三町六ヶ村にわたる雜種財産海濱地七十三町歩余を關係地元町村または町村民の希望者に拂ひ下げ、これで一萬圓の財源を捻出する目論みで舊冬來再三これが整理に躍起となつてるか時節柄當局が意氣込むやうにやすく〱と買收交渉がまとまらず行惱んでゐる、目下拂下げの決定を見たものは豊間、大浦村、江名町地內の二十六町步の賣約がまとまつたのみで本省から二月一杯に全部整理せよとの嚴達の手前ほとく〱困じ果てゝゐる。

相馬郡各町村豫算

相馬郡各町村では來月早々一齊に明年度豫算の編成にとりかゝるが大体に於て各町村とも五年度豫算額よりも一、二割減額する模樣である。

一勞働者から 貧困者に寄附
奇篤な行爲に平署員も感激

平警察署人事相談所に二十七日朝宇山と記した匿名氏からの書狀が舞ひ込んだが金一圓の爲替が封入してあり左の如き文面が添えてあつたが人情輕薄な今日奇篤な人であると署員は語つてゐた
▲不景氣と寒氣で困る方が澤山あらうと思ひます、殊に失業者は氣の毒です、私は一勞働者ですが幸ひ職にありついてゐます、職がなく困る人に惠んで下さい。

赤井校を 荒した賊

石城郡赤井村上小川村字福岡農林右衛門長男乘本仁平（二〇）は昨年十一月同村の鈴木彌七方より腕卷時計價格二十五圓を盜んだのを手始めに同郡赤井村第二小學校外二ヶ所より衣類その他數点を窃取した事發覺二十六日平署に捕はれた。

好間の地代値下運動 双方讓歩で解決か

石城郡好間村北好間小野まつ外二十余名の地主から宅地を借り受けてる同字高木積平外八十五名は現在の地代坪五十錢乃至一圓は高過ぎるとて五割方値下げを要求することになり過般來より交渉準備中二十四日前記高木外十二名の交渉委員をあげたので二十五日委員等は各地主を訪しそれ〲値下げ要求したが各地主の意嚮としては五割は不當であるも二、三割位の値下げには應ずる模樣であるから大体は、地主側の意嚮通りに解決されるものと觀測されてゐる。

▲信用組合整理

石城雙葉兩郡に四十三の信用組合があり石城郡平町駐在員の指導監督を受けてをりこれが總會は大体において二月上旬に開くことになつてゐるが在平、江名、豊間、四倉、內郷、湯本、大浦の組合が行つたのみで他はいづれも組合の借金整理につとめをり遲くもこれが回收は舊十二月末日頃であり一面又組合事務不統一の關係もあるが二月中旬頃までには全部整理を終了するものと見られてゐる。

▲徵稅事務協議會

平税務署では二月七日午前十時から管內町村税務主任を同署樓上に招致して徵稅事務に關する協議會を開くが、當日は吏員以外の名譽職にして常に徵稅事務に功勞のあつた者を特に表彰する事になり目下人選中。

▲平署犯罪件數

平警察署管內の昭和五年中の取扱ひ件數は左の通りである
公務執行妨害一、放火一、失火一八、住居侵害三、文書僞造三四、印章僞造三一、誣告三三、賭博六〇、職權濫用一、殺人一、殺人未遂一、自殺一、傷害五九、單純暴行四、過失傷害一、過失傷害致死三、業務上過失傷害三一、墮胎二、脅豫六、路取誘拐八、名譽毀損五、信用業務に對するもの三、窃盜六六五、强盜六、詐欺二五六、背任一、恐喝二、橫領五六、業務上橫領三九、其他一五、贓物に關するもの六三、毀棄隱匿八、　合計一三七六で違警罪の分は警察犯處罰令中の省令違反一二一、府縣令のもの七、府縣令違反五三一、其他の法令違反二七五、總計二、三一〇件で昭和四年に比し二一八件の增加で就中文書僞造、窃盜、詐欺、橫領、贓物に關するもの業務上の橫領等の激增が著しきもので、これは不況の爲に原因するものであると見られる。

▲煙草耕作不許可

相馬郡農會では郡內各村へ五十町步の煙草耕作方を許可されたいと縣知事並に郡山煙草專賣局へ陳情書を提出し極力實現を期してゐたが、今回遺憾ながら許可出來ぬ旨正式の通知に接し町村當局はガツカリしてゐるが、一方中村、大野、山上の一町二ヶ村では各二反步宛の試作許可方を郡山專賣局へ申請した

無免許運轉の自動車 貨物列車と衝突
機關車脱線、助手負傷

廿六日午後二時四十分頃石城郡大浦村早川祐次方無免許運轉手園部謙吉（三四）がトラックに油を滿載して茨城縣から平町に向ふべく同郡磐崎村大字白鳥地內藤原炭礦專用鐵道踏切を横切らんとした際折柄驀進して來た藤原發植田町行き貨物列車の機關車と衝突トラックは木葉微塵に粉碎し機關車は脱線運轉手並に助手門馬三代治（一八）は重傷を負つた平町から二十七日若林司法主任西條部長等出張取調べ中である。

▲磐東銀行總會

石城郡植田町磐東銀行第七十回定時株主總會は去る廿四日午前九時半より同銀行內に開催し、昭和五年下半期營業報告書、貸借對照表、財産目錄、損益計算書の承認及び利益金處分案を一括して議題に供し異議なく承認したが、株主配當年三分にて準備金及び利益配當左の如し。

準備金及利益金配當
一金五千二百九十二圓三十八錢　當期利益金
之を處分する事左の如し
金三百圓也　法定準備金
金二百圓也　退職給與基金
金二千二百十二圓五十錢　株主配當金
（年三分）
二千四百七十九圓八十八錢　後期繰越金

▲崖から墜落

四倉町磐城セメント工場職工同町本町三浦淸藏（四二）は廿四日午前十時頃工場で岩石採掘中五十六尺の崖上から墜落頭部を强打して人事不省に陷り手當中だが生命危篤である。

眞に生くる途（四）

吉田松雄

1 淸貧と濁富

更にキリストは「誠に爾等に告げん、富める者は天國に入ること難し、富める者の神の國に入るよりはラクダの針の孔を穿るは却つて易し」更に「それ日出て熱し草を枯せばその花落ち、その美しき容消ゆ、富める者斯くの如くその爲すところ半にして已先づ亡びん」と說き「全からんことを欲はゞ往いて爾等が所有を售つて貧しき者に施せ」と言ひ「爾等價なしに受けたれば價なしに施すべし、爾等金又は銀、または錢を財へ帶ぶる事勿れ」

俺はキリストを信仰するものでもない、又キリストの信仰を諸子に勸めやうとすることでないことを斷つて置く。併し淸貧？濁富？キリストの言葉に隨へば淸らかな富でさいもそれを所有することを誡めてある。況んや手段を撰ばざる不淨不純の濁富の蓄積に於てをやである。

諸君濁富を蓄積してその心的生活を地獄化するよりも人間は淸貧に甘んじてその心的生活を極樂化す事が大切であると思ふ。

2 友人の撰擇

人間の本來は孤獨でなく「群居」である、而して人間は談話をせずには居られん動物である、監獄の獨房へ長らく入れられて居ると物狂はしくなるといふことを俺も能く聞いてゐる、殊に監獄の雜居房などは談話を嚴重に禁じてあるが、それでも看守の隙を見計らい談話をするのみならず甚だしくやの取締りが嚴重であつて談話が出來ないと僅な紙へ爪形で文字を書いて互に渡し合つて談話をするといふことも聞いて居る。

人間が友人を求めずに居られないのは要するに人間が群居を好む動物であるからであると共に談話を好むからである

診察無料

◎如何ナル重患デモナオス

本院デワ特ニ今般
眼鏡科ノ改良ヲイタシ
檢眼無料デ確實ニ檢定シ
ドンナ眼鏡デモ即座ニ間合セマス非常ニ便利ニナリマシタ是非御用命ヲ希ヒマス

博士敬白

平三
大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番

貸切は

セダン揃ヒデ
乘心地ノヨイ
皆樣ノ昭和タクシーへ
電話三四三番（サシミ）

ゲーム取募集

詳細御來談下さい
平町字田町
ビリヤード一の井

吉田眼科病院

平町紺屋町
電話六八番
看護婦募集（免許所有者）

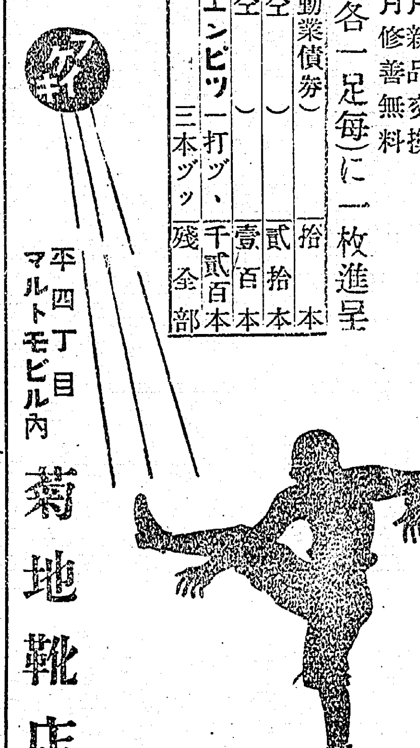
千代田製靴福引券付大賣出し

◎**五圓均一革靴**（修善自由）
赤黒　短靴、編上靴デモ　ノーブル型　中九型　角型

◎**耐久保證券付革靴**
破損　三ケ月新品交換　十ケ月修善無料

◎ちよだ子供靴（各一足毎）に一枚進呈

一等	參拾圓（勸業債券）	拾本
二等	拾圓（仝）	貳拾本
三等	五圓（仝）	壹百本
四等	ちよだ特製エンピツ一打ヅ、三本ヅツ	千貳百本
五等	仝	殘全部



平四丁目マルトモビル內
菊地靴店

外務員募集

經驗の有無を問はず
奮鬪家を望む（年齡二十五歲以上）
詳細面談
平町字鍛冶町十八番地
千代田生命保險相互會社**磐城代理店**內
木村丈三郎

美佐男御召こ

優秀銘仙陳列特賣

三井呉服店

第拾九期 決算公告

資產之部

不動產	四、八三八・二四
不動產保證貸付金	三、七九三・八六
掛金擔保貸付金	六、〇七七・〇二
未收無盡掛金	九四、〇五二・二八
解約未收無盡掛金	六六、一四三・一四
有價證券	二、三五七・一四
營業家屋	四、〇〇二・六〇
營業地所	二、五一八・〇〇
營業什器	二、五三七・四七
改築假出金	九四七・三八
假拂金	六、七四〇・四二
無盡集會所加入分擔金	三七・五〇
銀行預金	二、五〇六・一五
振替貯金	五一八・二〇
金銀勘定	四、七八三・〇七
合計	二〇一、八五二・三六

負債之部

資本金	一〇、〇〇〇・〇〇
無盡給付資金	八〇、八六七・二五
準備積立金	五、四〇〇・〇〇
特別準備積立金	五、四〇〇・〇〇
未拂無盡給付金	四六、一六三・〇〇
未拂解約返戾金	二〇、九八五・三九
未拂入札差金	一五、八七八・二七
期限未經過掛金	三、六九八・〇一
假受金	三四二・八五
日掛假受金	一、九二五・〇一
集金員勘定	六、四二八・八七
社員保證積立金	一、〇四四・六七
社員退職給與基金	一、四三三・一二
加入申込證據金	一五・〇〇
見替利息	一三・七〇
當期純益金	二、二五八・三三
合計	二〇一、八五二・三六

損失之部

營業費	三、七五八・六八
未收無盡掛金銷却	四、八二六・九八
不動產銷却	一五〇・〇〇
營業家屋銷却	一五〇・〇〇
營業什器銷却	五〇〇・〇〇
有價證券銷却	二九九・六〇
假拂金銷却	三一七・三二
當期純益金	二、二五八・三三
合計	四一、二六〇・七九

利益之部

無盡利益金	三九、七九〇・三三
諸利益金	一、四七〇・四六
合計	四一、二六〇・七九

利益金處分

金七百圓也　準備積立金
金七百圓也　特別準備積立金
金貳百五十圓也　社員退職給與基金
金參百圓也　社員賞與金
金參百〇八圓貳拾貳錢也　次期繰越高

昭和五年十二月三十一日
福島縣石城郡平町大町十一番地
本社　**磐城無盡商會**
會長　小宅嘉久治

當期末現在無盡給付金契約高	二、四九五、七七六・〇〇
當期末現在滿會無盡完了高	二、一九八、八二二・〇〇
合計	四、六九四、五九九・〇〇

尙昭和五年十一月三十日附ニテ其ノ筋ニ認可出願本社ヲ平町大町十一番地ニ移シ且ツ平支店合併ノ件申請中ノ處昭和六年一月十二日附ヲ以テ本縣知事ヨリ認可指令書ヲ下附セラレタリ

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒

マルソー・ブランク・白
マルソー・ルージ・赤　￥1.10
良品にして安價賣行飛ぶが如し

西村屋藥局